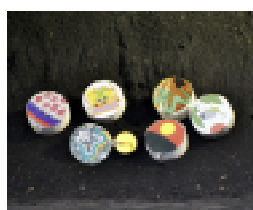


大阪府実業団初射会

1月29日大阪ガス今津総合グラウンド内の弓道場に於いて実業団の初射会が行われました。六甲おろしの風もなく穏やかな一日でした。当日はBブロックは規程により団体競技が成立しませんでした。競技の結果、パナソニックチームの優勝でした。お正月らしく余興的を楽しんで和気藹々のうちに閉会しました。



優勝パナソニックチーム



金的ゲット

範・教・錬・女子・有段者対抗試合

2月11日、範・教・錬・女子・有段者対抗試合が大阪城弓道場で開催されました。この日は風も無く、陽だまりは春の到来を告げるかのように暖かく、とても穏やかな一日でした。一方、対抗試合は白熱した展開となりました。成績結果は次の通りでした。

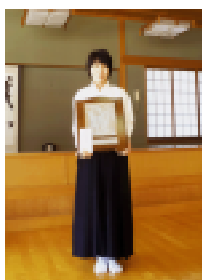
個人最高の中賞 澤根規代(吹田)

団体

教士チーム 女子チーム 錬士男子チーム 錬士女子チーム 有段者チーム

各部敢闘賞

教士の部 下田隆司 錬士の部 二宮 一
女子の部 森脇靖子 有段者(男)勝山悦二
錬士女子・有段者 山口哲郎



澤根規代(吹田)



各部敢闘賞の選手

(写真:古跡)

第16回大阪武道祭

2月11日大阪市立中央体育館に於いて第16回大阪府武道祭が開催されました。昨年の積雪とは違って変わって風の無く穏やかなスタートとなりました。今年は見学者も多く、二階席も満席という盛会でありました。大阪府弓道連盟は「女子三人一つの射礼」の演武を教士六段北川浩子・教士六段山田直美・錬士五段篠田淳美の先生方で行いました。的中する度に歓声と拍手があがり。終わってからも盛大な拍手が送られました。



弓道演武

(写真:鉄谷・池畑・小澤)

大阪府連学生審査

2月26日万博記念公園弓道場に於いて大阪府弓道連盟平成24年学生審査が実施されました。時々小雪が舞う寒さ厳しい審査の日でした。受験者117名 審査結果は次の通りでした。

3級 4名 2級 20名 1級 5名

初段 13名 弐段 7名

参段 3名 居出 篤(府立大)

下崎 花(近畿大)

戸田寛子(関西大)

四段 該当者なし

審査部・学科担当より

この度の学生審査に於ける答案レベルは極めて低く欠点となった人が数人居ました。学科が欠点の為に不合格となった人も居ます。学科も審査であることを忘れないで、しっかり勉強して下さい。

訃報

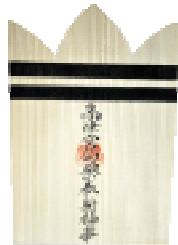
兵庫県弓道連盟副会長
教士七段 天王寺美代子先生は2月23日逝去されました。(享年91歳)。謹んでお悔やみ申し上げます。

高津宮的祭神事

2月23日皇太子殿下のお誕生日を記念して、高津宮的祭神事が行われました。残念ながら当日は前夜からの雨が残り止むを得ず拝殿の中での演武となってしまいました。普通、弓の神事は遠的で行われる事が多いのですが、「高津宮」の「的祭神事」は近的で行われます。的は盾型の板の的を塚に掛けてこれを射割ります。「高津宮」は仁徳天皇を御祭神としています。『日本書紀』によりますと、仁徳天皇の12年の7月3日、高麗国が鉄の盾、鉄の的を献上して参りました。そこで翌月10日、高麗の使者を供応する日に、群臣・百僚を集めてこの鉄盾・鉄的を射させ、盾人宿禰(たてひとのすくね)が唯一人これを射抜き、高麗国の使者畏れて拝朝す、という話が出ております。この故事から仁徳天皇ゆかりの「高津宮」の「的祭神事」では盾型の射割的を射抜いて国威を護った盾人宿禰の偉業を偲ぶことになっております。神事に先立って仁徳天皇に捧げられる祝詞にも謳われていますので、この神事の由来が良くわかります。



本殿正面



盾形の的

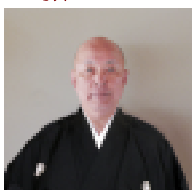
(写真：鉄谷)

2月の昇格者

昇格おめでとうございます。益々のご活躍をお祈り申し上げます。



教士



山中敬雄(豊中)
2月11日(名古屋)

錬士



岡田茂充(大阪ガス)
2月19日東京錬士号
特別講習会合格

弓道場・クラブ紹介

《 脇田弓道場 》

「脇田弓道場」と言うのが京橋駅を出た所であり、多くの方が稽古されていたことが分かりました。そこで「脇田弓道場」に居られた梶川先生にお話を伺いました。

京橋駅片町口から3分程の所に「脇田パーキング」という大きな駐車場がありました。脇田のご子息で脇田貞夫氏(昭和48年甲南大学卒・弓道部所属、副主将を務め在学中に四段を取得)が昭和53年に弓道場をオープンしました。1階が駐車場、その脇に弓具店、弓具店の2階が会議室になっていてそこが控え室でした。会議室は府連の会議にも良く使われていました。塚・矢道は駐車場の屋根のような形になっていました。射場は4人立ちで奥行きが広くゆったりしていました。塚の方が若干狭くなっていて矢取道は無く、矢道の端を通ってました。周囲は防矢ネットで囲われていました。会員数は約60名、他に大西先生夫妻、森川先生、高辻先生、横沼先生、国税局の方等他クラブの方も大勢稽古に来ていました。(脇田氏のメモによれば、当初は脇田弓道倶楽部 脇田弓友会と改称したようです、万博弓友会に残る記録にも脇田弓友会とあります)脇田・万博・四ツ葉と三者によるクラブ対抗戦が毎年行われていました。

花博が鶴見緑地で開催されることになり、地下鉄鶴見緑地線京橋駅の設置計画が持ち上がりました。これによって周辺の都市再開発計画により弓道場も取り壊されました。話が出てからあっと言う間の出来事でした。会員は高津弓道場に稽古の場を移して活動していましたが、昭和62年、10周年の行事計画中に解散となり、各人夫々のクラブに入れて頂き、今日に至っています。

現在は「脇田・住友生命ビル」となっています。昨年、脇田の会員達10数名が集まり懇親会を催しました、遠くは鹿児島からも参じて昔話に花が咲きましたが今となっては幻の道場になってしまいました。



脇田・住友生命ビル